

都市再生整備計画 事後評価シート  
銚子市中心市街地地区

平成24年3月

千葉県銚子市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	銚子市	地区名	銚子市中心市街地地区			面積	127ha			
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成23年度	交付対象事業費	1,229百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路事業(市道1006号線、市道60388号線、市道50001号線、市道1007号線)、公園事業(河岸公園、清川町第二公園)、地域生活基盤施設(駐車場、情報板)									
		提案事業	地域創造支援事業(前宿町公園野球場、前宿町公園駐車場)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	—		—		—					
	新たに追加した事業	基幹事業	—		—		—					
提案事業		—		—		—						
交付期間の変更	当初	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—							
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度					
	指標1	野球場の稼働率(年間)	%	30	H17	40	23	29	×	あり	東日本大震災の影響があり、野球場再開からの稼働期間が極端に短く、且つ、利用促進の周知が不足していたこともあり、従前値を下回る見込み評価値となった。 ● しかし、野球場整備により平成22年度ちば国体が無事開催され、賑わい創出のきっかけとなった点は一定の事業効果があったと評価できる。	平成25年5月
	なし											
	指標2	1人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	2.94	H17	2.99	23	3.28	○	あり	河岸公園と清川町第二公園の整備により、新たにコミュニティ形成の場が創出され、結果として住民一人あたりの都市公園面積が目標値を達成した。	平成24年4月
なし												
指標3	歩行者通行量(市道50001号線)	人	190	H18	228	23	302	○	あり	市道50001号線の整備より歩行者の利便性・快適性が向上し、また、隣接する河岸公園の整備効果及び、観光案内板設置による観光客の利便性の向上もあり、歩行者交通量の増加が図られた。	平成24年5月	
なし												
指標4	主要道路交通結節点から野球場までの所要時間	分	14	H18	11	23	10	○	あり	市道1006号線及び市道60388号線の整備によって大型車両が走行できる市街地迂回ルートが確保されたことにより、所要時間の短縮を図ることができ、自動車の利便性が向上した。		
なし												
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値		目標値		数値		1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度					
その他の数値指標1	野球場整備に対する利用者の満足度(5段階回答の中の高評価上位2回答件数の割合)	%	—	H18			40.1			銚子市野球場の整備により、野球場利用の満足度は一定の向上が図られた。		
4) 定性的な効果発現状況												
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民からの要望もあり決定した「平成22年度ちば国体高等学校野球大会」の市内開催に向け、銚子市野球場及び周辺道路駐車場を整備したことにより、無事ちば国体を開催することができた。雨天等により実質開催は2日間であったが、観覧者等7,600人の動員を記録し、賑わい創出のきっかけとなった。</li> <li>河岸公園では、大人数に対応可能な規模のトイレを整備したこともあり、銚子市花火大会等のイベント会場として利用者の快適性が向上し、賑わいの創出に一役かっている。また、新たな散歩コースとしても近隣住民から利用され、地域のコミュニティ形成の場が創出されつつある。</li> </ul>												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	当該計画で実施した事業(道路・公園・情報板)について、住民への事業説明会や住民の要望を反映させるために住民懇談会を複数回実施している。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も必要に応じて実施していく。			
持続的なまちづくり体制の構築	—			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

## 様式2-2 地区の概要

銚子市中心市街地地区(千葉県銚子市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：次代に拓くまちづくりを進め、賑わいのあるまちの再生を図る。 目標1：賑わいの拠点となる公園を整備改善することにより、地域住民のコミュニティ形成の場の創出及び交流人口の拡大を図る。 目標2：市街地の道路を整備改善することにより、良好な都市環境、都市景観を形成し、自動車交通及び歩行者の利便性、快適性の向上を図る。	野球場の稼働率	単位：%	30 H17	40 H23	29 H23
	1人当たりの都市公園面積	単位：㎡	2.94 H17	2.99 H23	3.28 H23
	歩行者通行量	単位：人	190 H18	228 H23	302 H23
	主要道路交通結節点から野球場までの所要時間	単位：分	14 H18	11 H23	10 H23
	—	単位：	H	H	H

**■基幹事業**  
河岸公園整備事業

**■基幹事業**  
清川町第二公園整備事業

**■基幹事業**  
まちなか歩き観光案内標識設置事業

**■基幹事業**  
市道1007号線歩道改良事業

**■基幹事業**  
市道1006号線

**■基幹事業**  
市道60388号線道路改良事業

**■基幹事業**  
市道50001号線道路改良事業

**□提案事業**  
前宿町公園野球場改良事業

**■基幹事業**  
**□提案事業**  
前宿町公園駐車場改良事業

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>野球場改良整備により、平成22年度ちば国体高等学校野球大会を無事開催することができたが、今後は東日本大震災被災からの早期の野球場復旧を目指し、さらなる施設利用促進のためPR事業が必要である。</li> <li>道路整備や情報板設置により、大型車の所要時間の短縮や歩行者(観光客)の利便性・快適性が向上している。今後は、観光(まちなか歩き)と運動させるインフラ整備が必要と思われる。</li> <li>新たに河岸公園及び清川町第二公園を整備したことにより、コミュニティ形成の場が創出され、また、まちなか歩き観光案内板設置では、まちなかを回遊する観光客の利便性に貢献しているが、今後は、より一層の観光客を呼び込むための観光資源の強化が求められる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>銚子市野球場の東日本大震災被災からの早期復旧を目指す。また、再稼働した際には野球場利用促進のための市民への周知を実施するとともに、それら施設を利活用するイベントの企画・誘致を検討し、市の活性化につなげていく。</li> <li>自動車、歩行者の利便性、快適性を維持するために、道路の適切な維持管理を日常的に実施していく。</li> <li>まちなか歩き観光マップ事業や観光アテンダント事業などを通して、まちなか歩きを観光資源として定着させ、交流人口の拡大を図っていく。</li> <li>観光客がまちなか歩き(観光)をし易くなるような、歩道・駐車場の整備を推進するとともに、レンタサイクルの活用等回遊性を高める交通手段を充実させる。</li> <li>銚子第一魚市場の再整備による魅力ある観光拠点整備や既存商店街の活性化に通じる観光資源の発掘により、まちなか歩きルートの賑わいの創出を図り、更なる交流人口の拡大を図る。</li> </ul>

都市再生整備計画(第4回変更)

銚子市中心市街地地区

千葉県 銚子市

平成24年3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	千葉県	市町村名	銚子市	地区名	銚子市中心市街地地区	面積	127 ha
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度
交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

### 目標

- 大目標 次代に拓くまちづくりを進め、賑わいのあるまちの再生を図る
- 目標1 賑わいの拠点となる公園を整備改善することにより、地域住民のコミュニティ形成の場の創出及び交流人口の拡大を図る。
- 目標2 市街地の道路を整備改善することにより、良好な都市環境、都市景観を形成し、自動車交通及び歩行者の利便性、快適性の向上を図る。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- 当地区は、本市の中心市街地に位置し、古くから醤油醸造業などの産業とともに、水運の拠点として商業機能が集積された地区であり、また、戦後から昭和30年代にかけて行われた銚子都市計画復興土地区画整理事業により、都市基盤が整備された地区及びその周辺の地区である。本市の繁華街や商店街は、地区内の飯沼観音を中心に形成され、その門前町として繁栄してきたが、近年における社会経済環境のめまぐるしい変化の中で、首都圏に位置しながらその優位性を生かききれず、若年層を中心とした人口の流出や少子高齢化による人口の減少とともに経済活動が停滞しており、当地区においても中心市街地の衰退、空洞化が顕著化しつつある。
- 地区内の道路については、復興土地区画整理事業で整備し、さらに、JR銚子駅から利根川へ向かう都市計画道路銚子駅前線を銚子駅前シンボルロード事業により、また、市役所東側付近から東へ向かう本通馬場町線をマイロード事業及びふれあい商店街近代化事業として都市基盤整備を進めてきたところであるが、復興土地区画整理事業で整備した路線については、整備後、かなりの年月が経過していることから、老朽化が著しい箇所が多く見受けられる。また、地区内の都市公園についても同様に、復興土地区画整理事業で整備したJR銚子駅以北の地区は比較的バランスの良い配置となっているが、それ以外の地区について整備が進んでいない状況となっている。
- 中心市街地に賑わいを取り戻すため、平成22年に開催が内定している第65回国民体育大会の開催や新銚子大橋の完成、国道356号バイパスの整備を契機に、交流人口の拡大を図る施策として、各種スポーツ大会の誘致、親水型レクリエーション拠点の整備を進めていく必要がある。

#### 課題

- 地区内には、平成22年に開催が内定している第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」の公開競技である高等学校野球(硬式)の会場となる銚子市野球場があるが、昭和24年に設置した野球場は、施設の改修を繰り返して現在に至っているものの、老朽化が著しいことから、国体開催に向けてその整備が喫緊の課題となっている。
- 地区内の道路については、JR銚子駅から利根川へ向かう都市計画道路銚子駅前線を銚子駅前シンボルロード事業により、また、市役所東側付近から東へ向かう本通馬場町線をマイロード事業及びふれあい商店街近代化事業として都市基盤整備を進めてきたところであるが、その他の路線については、一部狭隘な箇所があり、また、老朽化が著しい箇所も見受けられるため、自動車交通及び歩行者の利便性、快適性の向上を図る必要がある。
- 現在、千葉県と茨城県が事業主体となって銚子大橋架換事業が進められているが、完成後の新銚子大橋については、新たな観光拠点となる要素を持ち合わせていると考えられることから、景観を享受できるウォーターフロントの散策空間の拠点を整備することにより、来訪者を地区内へ誘導し、交流人口の拡大を図っていく必要がある。

#### 将来ビジョン(中長期)

銚子市総合計画 銚子ルネッサンス2025「ひとがときめき 海がきらめき 未来輝く都市(まち)」の実現に向け、やすらぎを育むまちづくりプラン、人とまちが輝く交流づくりプラン、未来を拓く産業づくりプランを積極的に推進していくとしている。やすらぎを育むまちづくりプランでは、自然を活用した公園、緑地、親水空間の整備、また、人とまちが輝く交流づくりプランでは、各種スポーツ大会の誘致、親水型レクリエーション拠点の整備を進めるものとしている。

### 目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性		従前値		目標値	
						基準年度		目標年度
野球場の稼働率	%	野球場の1年間の稼働率	野球場を改修し、活用を推進する事業を展開することにより、交流人口の拡大を図る。	30	平成17年度	40	平成23年度	
1人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	住民一人当たりの面積	住民一人当たりの公園面積の増加を図る。	2.94	平成17年度	2.99	平成23年度	
歩行者通行量	人	市道50001号線の歩行者数/9時間	歩道を整備し、良好な都市空間を形成することにより、歩行者数の増加を図る。	190	平成18年度	228	平成23年度	
主要道路交通結節点から野球場までの所要時間	分	大型車両における主要道路交通結節点から野球場までの所要時間	市街地を通過しない路線を整備することにより、野球場までの所要時間の短縮を図る。	14	平成18年度	11	平成23年度	

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・賑わいの拠点となる公園を整備改善することにより、地域住民のコミュニティ形成の場の創出及び交流人口の拡大を図る。</p>	<p>【基幹事業】 公園 河岸公園整備事業 清川町第二公園整備事業</p> <p>地域生活基盤施設(駐車場) 前宿町公園駐車場改良事業</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業 前宿町公園野球場改良事業 前宿町公園駐車場改良事業</p>
<p>・市街地の道路を整備改善することにより、良好な都市環境、都市景観を形成し、自動車交通及び歩行者の利便性、快適性の向上を図る。</p>	<p>【基幹事業】 道路 市道1006号線、60388号線、 50001号線道路改良事業 市道1007号線歩道改良事業</p> <p>地域生活基盤施設(情報板) まちなか歩き観光推進事業、案内標識整備事業</p>
<p>その他</p>	

